

医科歯科連携による 摂食嚥下リハビリテーション

講師 井上 誠 氏

新潟大学大学院医歯学総合研究科
摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授

と き 2016 年 6 月 19 日 [日] 午前 9:30~12:30

ところ ホテル金沢 4階 エメラルド [定員 100 人]
金沢市堀川新町 1-1 [金沢駅東口から徒歩 1 分]

対 象 歯科医師、医師、コ・メディカルなど

- ◎ 6/13[月]までにお申込みください(申込方法は裏面参照)。
- ◎ 定員に達した場合には、申込締切日前に締め切らせていただきますのでご了承ください。
- ◎ 会場には若干の駐車スペースがありますが、満車の場合には近くの有料駐車場をご利用ください。

無料
要予約
⇒裏面へ

「歯援診」 施設基準対応 研修

この講演会は
「在宅療養支援歯科診療所」
(歯援診)の施設基準に定められた
研修にも位置づけています。
最後まで受講された方には、後日、
修了証を郵送します。

修了証は、保険医協会の会員の歯科医
師で、希望者にのみ発行いたします。

※「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」の
施設基準の研修要件のうち、「高齢者の心身の特
性、口腔機能管理、緊急時対応」に係る研修にも
位置づけます。

《 ご案内 》

平成 25 年の厚労省調査によると、日本は世界でも類を見ないほど高齢化が
進行し、平均寿命は男性が 80.21 歳、女性が 86.61 歳となり、世界のなかでも
トップクラスに位置しています。しかし、健康寿命となると男性 71.19 歳、女性
は 74.21 歳で、平均寿命と 9~12 年ほどの差があり、改善すべき課題として残
されています。

いま、この差を埋めることに寄与すると医療・介護関係者から注目されてい
る取り組みがあります。歯科にも大きく係わる「口から食べること」がそれ
です。しかし、高齢者、特に要介護者においては口から食べることは容易なこと
ではなく、口腔ケアのみならず摂食・嚥下障害の克服が喫緊の課題と指摘されて
います。また、この分野は技術・手技の進展も早いことに加え、歯科医療関係
者だけで完結できるものではなく、多職種による連携なくしては成り立ちませ
ん。

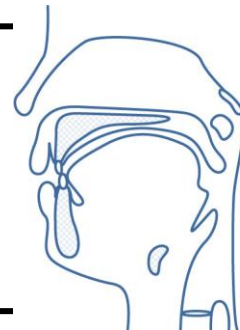
そこで、今回はこの分野のエキスパートとして脚光を浴びている新潟大学
の摂食嚥下リハビリテーション学分野の井上誠教授をお迎えし、口から食べる
ことの意義・本質はもちろんのこと、口から食べるためには何が必要か、加え
て地域医療連携の在り方など多岐にわたる内容をお話ししていただくことと
なりました。歯科医療関係者のみならず、医科・介護などすべての関係者に奮
ってご参加いただきたいと思います。

主催 石川県保険医協会

医科歯科連携による摂食嚥下リハビリテーション

講師／ 井上 誠 氏 (新潟大学大学院医歯学総合研究科
摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授)

6/19 [日] 午前 9:30～12:30 ホテル金沢 4階 エメラルド



<抄録>

超高齢社会において嚥下障害に苦しむ患者さんは年々増加しており、その一方で「口から食べることを臨床介入によって取り戻せる患者さんも多数いらっしゃいます。そこでは、患者さんの家族の理解や協力のもとに摂食嚥下リハビリテーションを進めるだけでなく、関連病院・施設、関係者への啓蒙・啓発活動を行い、嚥下障害者をより広く、地域で支えるための施策を練ることが必要です。これまでの全国の流れを追ってみると、疾患に基づく正確な診断と介入内容の決定と実行に関する技術や知識の問題、多職種連携を進める中で各職種の役割を明確にして責任のある介入を継続するためのネットワーク作りの困難さなどがあげられています。

嚥下障害に従事する臨床家の責務は、人が人らしく生きていくための大きな要素である「口から食べる」ことを支えること、誤嚥性肺炎を予防することです。私が所属しているのは大学病院であり、医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、療法士、栄養士など多くの職種が集うことで、各々の専門分野の力を有効に生かした臨床が進められています。翻って、地域ではどうでしょうか。施設や在宅の臨床を担う役割分担を明確にすることは難しく、それぞれの地域で考えていく必要がありそうです。

<略歴>

1994年3月 新潟大学歯学部 卒業
1994年4月 新潟大学大学院歯学研究科 入学
1998年3月 新潟大学大学院歯学研究科 修了

<職歴>

1994年4月 新潟大学歯学部第一口腔外科学講座 入局
1998年4月 新潟大学歯学部 口腔生理学講座 助手
1999年12月～2001年11月 英国レスター大学 留学
2003年1月～3月 スウェーデン ウメオ大学 留学
2004年9月 新潟大学医歯学総合病院 摂食機能回復部 講師
2006年10月 新潟大学大学院医歯学総合研究科
摂食嚥下障害学分野 助教授

2008年4月 新潟大学大学院医歯学総合研究科
摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授
現在に至る

<専門>

口腔生理学 神経生理学 嚥下障害学

<受賞>

2000年9月 第13回歯科基礎医学会賞
2002年7月 第3回日本顎口腔機能学会奨励賞
2008年5月 第16回国際食品工業展アカデミックプラザ賞
2014年6月 第22回国際食品工業展アカデミックプラザ賞ほか

<役員>

日本顎口腔機能学会 理事
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 理事 他

申込締切

6/13[月]

参加申込書

- ▶ このまま切り取らずにFAXを送信して下さい ⇒ FAX 076-231-5156 [保険医協会宛]
- ▶ 電話やメールでの申込みも可能です
- ▶ 受講証(歯援診の施設基準対応研修)は、会員の歯科医師で、希望者にのみ発行します(後日郵送)

医療機関名	
申込者名	
住所	〒
電話番号	— —
参加者名	(職種:)
保険医協会の会員確認	☐ 保険医協会の会員である ⇒ () 県保険医協会・医会
歯援診の受講証(歯科会員のみ記入)	☐ 発行を希望する ☐ 発行不要

→ 当てはまる□にチェック✓を入れ、()にご記入ください。

石川県保険医協会 <http://www.ishikawahokeni.jp/>

〒920-0902 金沢市尾張町 2-8-23 太陽生命金沢ビル8階

TEL 076-222-5373 FAX 076-231-5156 メール ishikawa-hok@doc-net.or.jp